本書の掲載内容に下記の誤りがございました。ここに訂正させていただきますとともに深くお詫び申し上げます。法改正に伴うも下記にてお知らせ致します。

頁	箇所	誤	正	
	受験案内	※支部の所在地等に変更が生じております。試験機関のサイト等をご覧ください		
83		共同防火管理	<mark>統括</mark> 防火管理 <mark>者</mark>	
		共同防火管理協議会の設置	統括防火管理者の選任	
84	1 行目	個別検定	型式適合検定	
95	3.	共同防火管理	統括防火管理者	
	3.	次の防火対象物で…必要があります。	雑居ビルなどでは管理権原者、いわゆるテナントが複数存在することになりますが、そのような場合は、管理権原者の協議により、建物全体の防火管理業務を行う統括防火管理者を選任し、消防長又は消防署長に届け出る必要があります。	
		特定用途部分を含む複合用途防火対象物	特定防火対象物(④⑤除く)	
		地階を除く階数が3以上で,かつ,収容人員が	地階を除く階数が3以上で,かつ,収容人員が	
96	3. ②	30 人以上のもの。	*30 人以上のもの。	
90	3. ②		* 6 項口(要介護老人ホーム等), 6 項口の用途部	
			分が存する複合用途防火対象物の場合は10人以	
			上	
96	3. ⑤	指定のない…ありません。	指定のない地下街には統括防火管理者は必要ありません。	
		※「こうして覚えよう」以下最終行までを次のものに差し替えます		
96		こうして覚えよう! 〈統括防火管理者が必要な場合〉 トンカツ屋の ジュン さんは 最 後に 統括防火管理者 準地下街 3と30 31 m 5と50 地下の指定席へと走った 地下街 (トンカツ屋のジュンさんが満員のホールで空席を探すうちに、ついに地下の 指定席へと走った、という意味です)		
なお、統括防火管理者には、テナントごとに選任された防火管理者 必要な措置を講じるよう指示する権限が与えられており、また、建物 火防災管理を推進するため、次のような業務を行う必要があります。 ① 全体についての消防計画の作成 ② 全体についての消防計画に基づく避難訓練などの実施 ③ 廊下、階段等の共用部分の管理		ラえられており、また、建物全体の防 業務を行う必要があります。		

100	問題 3 2 行目	共同防火管理協議会の設置	統括防火管理者の選任
	問題3 解説1行目	サロは 小笠頂力 辛 ヘ ご 198	(佐田) 小笠田(大田) マップ (T
101	問題 3 解説 (2)	共同防火管理協議会の設置   	統括防火管理者の選任 
101	問題 3 解説 (3)	# Fire 1, 45 THE 1, 15 THE 1	<mark>統括</mark> 防火管理 <mark>者</mark> を <mark>選任</mark>
	問題 3 解説 (4)	共同防火管理協議会を設置 	
103		養護老人ホーム	老人短期入所施設
149	表 (6)	盲学校, 聾学校又は養護学校	特別支援学校
452			
			④特定防火対象物の地階で地下街と一体を成す
			ものとして、消防長又は消防署長が指定したもの
			で, ある特定の設備*の基準を適用する場合は、
107		※次のものを「③地下街の場合」の次に追加	地下街の一部とみなされます。
			*ある特定の設備とは次の設備のことです。
			・スプリンクラー設備・非常警報設備
			・自動火災報知設備・ガス漏れ火災警報設備
		④渡り廊下…	⑤渡り廊下…
108	下から3行目	重要文化財等のみ	地下街, 準地下街を除く特定防火対象物と重要文
			化財のみ
121	   問題 12 解説	※「○ 自動火災報知設備~」の行の次の行に挿	○ ガス漏れ火災警報設備(特防と法定の温泉採
	1-3KE 12 /318/0	入します	取設備)
130			
131		   個別検定	   <mark>型式適</mark> 合検定
133			
134			
135	問題 4	誤っているもの	正しいもの
135	問題4 解答	(3)	(4)
	(3) ②	免状取得後(免状の交付を受けた日から) <b>2 年以</b>	免状の交付を受けた日以後における最初の4月1
138		<b>内</b> ,およびその後は <b>5 年以内</b> ごとに	日から 2 年以内, その後は講習を受けた日以後に
			おける最初の4月1日から5年以内に
		※該当箇所直後の「重要」枠をすべて削除します	
138	(4) 免状の書換え	居住地または勤務地を…	免状を交付または居住地か勤務地を…
139	こうして覚えよう	居住宅	居住地
	イラスト内		
	   問題 7 解説, 問題 8	受けた日から2年以内,その後は5年以内ごと	受けた日以後における最初の4月1日から2年
144	(4)	に受講	以内, その後は受講日以後における最初の4月1
	( . /		日から5年以内ごとに受講
148	下から 2, 7 行目	火災通報設備	火災 <mark>報知</mark> 設備

149	表 2-10 の(2)/b 欄	b :: イ 	A ···· 床面積   100 m²   以上   二 ···· 以上   二 ····   以上   二 ····   以上	
150	<b></b> %4	(2)項	(2)項(二を除く)	
151	(1) ① [例外]	※次のものを追加します	c. (2)項二(マンガ喫茶等), (5)項イ, (6)項口 (要介護の老人ホーム等), (6)項ハは全てに設置	
	(2) ② [例外]1行目	2項	2項(二を除く)	
	(2) ② [例外]2行目	, カラオケボックスなど	など	
154	表 2-11	表の欄	P.149 の表	
		※[例外]に次のものを追加します	マンガ喫茶等:全て	
			   旅館, ホテル等:全て	
	表 2-11 ①(ア)		病院,診療所等:全て	
			要介護の老人ホーム:全て	
			要介護除く老人ホーム等:全て	
		※「全て設置」欄の「防火対象物」として次のも	・カラオケボックス,マンガ喫茶等	
	表 2-12	のを追加	<ul><li>・旅館, ホテル等</li></ul>	
155			・病院,診療所等	
			・要介護の老人ホーム等	
			・要介護除く老人ホーム等	
		※次のものに差し替えます	特定 1 階段等防火対象物は、マンガ喫茶、旅館、	
157	問題 1 解説 (3)		病院などと同じく、延べ面積に関係なく設置義務	
			が生じるので,これが正解です。	
158	問題 2 (3)	,;= Pri		
	問題 2 解説 (3)	病院	店舗	
159	問題4解説	2項	2 項( <del>二を除</del> く)	
		450m²の駐車場については①の条件に当てはま	地階にある駐車場については P.1543(ア)より	
		り, 300m²以上の場合	<mark>200</mark> m <sup>2</sup> 以上の場合	
160	問題 5 解説	2項	2項(二を除く)	
161	問題 6 解説 (1)	2項	2項(二を除く)	
162	注)	600 m <sup>2</sup>	700m <sup>2</sup>	
165	下から3行目	設置可能	設置不可能	
208	問題 4 (4)	定格音圧	定格電圧	
219		※表を次のものに差し替えます		

## 表 3-3 P型受信機の機能比較表

	P 1 多回線	P1 1回線	P2 多回線	P2 1回線	P3 1回線
火災表示試験	0	0	0	0	0
火災表示の保持	0	0	0	0	×
予備電源	0	0	0	×	×
地区表示灯	0	×	0	×	×
火災灯	0	×	×	×	×
確認,電話連絡	0	×	×	×	×
導通試験	0	×	×	×	×
地区音響装置(dB)	90 以上	90以上	90以上	×	×
主音響装置 (dB)	85 以上	85 以上	85 以上	85 以上	70 以上

(なおR型はP1多回線に同じです)

〇:必要 ×:不要

(×:一応「不要」だが、厳密には「省略することができる」)



表の×の下に・の印がある部分についてじゃが、 ・の印がない×は、規格そのものがないので「不 要」ということになり、・の印がある×は、規格 省令に「~しないことができる」等と表示してあ るものなので、単に不要というのではなく、「省略 することができる」という意味になるんじゃ。

本試験では、この P 型受信機の機能比較表に関しては、単に「必要」「不要」のうちから適当な答えを書きなさい、という出題のほか、たまに「必要」「不要」「省略することができる」のうちから適当な答えを書きなさい……と出題される場合があるので、注意が必要じゃよ。

254	2. T 型発信機	共通の信号	共通の信号または固有の
286		0.4m 以下	0.4m <del>未</del> 満
293	1. (1)	85℃	60℃
		65℃	40°C
297	③ (ア) (注)	歩行距離ではなく水平距離	水平距離ではなく <mark>歩行</mark> 距離
298	4	※「垂直距離 15m~」の行の次に挿入します	注:特定1階段等防火対象物は7.5m につき1
290			個以上。ただし3種は不可。
316	④ 1行目	ただし, 次の…	ただし,P型1級受信機に接続する防火対象物で,
310			次の…
329	3	のことで, R型のみに備えられています	のこと
330	12 行目	7 回路(7 警戒区域)	8 回路(8 警戒区域)
332	② 6 行目	つまり,耐火,耐熱両者とも	つまり,耐火 <mark>配線</mark> ,耐熱 <mark>配線</mark> 両者とも
	② 9行目	耐火の場合は金属管を	耐火配線の場合で金属管を用いる場合は
	② 10 行目	耐熱の場合は	耐熱配線の場合は
	② 10 行目	使用可	使用可能
	「重要」欄	金属管を埋設する	金属管を <mark>用いる場合は</mark> 埋設する
		埋設不要	金属管を用いる場合は埋設不要

342	表 4-4	直流 250V	直流 250V <mark>(ガス漏れは 500V)</mark>	
350	(1) ①	または導管の貫通部分	またはガスを供給する導管の貫通部分	
382	例題 1 B	※次のものに変更します		
383	Н	※次のものに差し替えます  「「「「「」」」  「「」  「「  「		
303	I	※次のものに差し替えます		
383	解答 Η 名称欄	検出器	検出 <mark>部</mark>	
	解答 I 名称欄	検出器	検出 <mark>部</mark>	
417	問題 6 (2)	個別検定	型式適合検定	
434	問題 6 解説	個別検定	型式適合検定	
448	問題 2 解答 ⑥	1	ウ	
448	問題 2 解説 11 行目	省略することができます	不要です	
452	表の(2)/b 欄	b :: イ 	b : イ ··· 床面積 ロ ··· 100 m² ノ ··· 以上	